

2022年度日本神経生理検査研究会 通常総会議案書(案)

会員のみなさまにおかれましては、平素より当研究会活動のご支援を賜りありがとうございます。

我々を取り巻く情勢として、新型コロナウイルス感染症の対応の収束が見えていません。際立って減少してないにも関わらず、社会の動きは旅行や会食など少し前はタブーとされてきたことが少しずつ緩和されてきています。マスク着用はどんなシーンにおいても必須とされてきましたが、これも条件付き緩和の方向になってくるようです。しかし我々医療従事者は新型コロナウイルス感染症患者の診療・検査をこれからも続けていきますので、会員の皆様は引き続き感染管理・体調管理に気をつけていただきたいと思います。

さて1年は早いもので当研究会の総会の時期になりました。昨年度の学術事業は Web ベースで各支部が主催、企画を行い盛んに行われ、会員のみなさまは現地に赴かなくても学ぶ場が多数あったのではないかと思います。また全国研修会は3月に関東・甲信越支部主催で無事に終えることができました。全国研修会では米国での術中神経モニタリングの現状など、Web ベースであったからこそ実現できたことが内容としてありました。全国研修会はもとより、各支部の支部長、世話人など実務をご担当された皆様にはご苦勞をおかけしました。本当にお疲れさまでした。大変良い会員サービスになったことであると考えます。

今年度も各支部の研修会を順次計画していますので、ホームページやメーリングリストなどを通じて広報して参りますので奮ってご参加のほどよろしく願いいたします。

今後の研修会の行い方は情勢を鑑みて検討していくこととします。Web セミナーは当研究会のアンケート結果だけでなく、関連学会などのアンケート結果でも有効性が明らかとされています。現地に赴く必要性がなくなり、自宅や職場に居ながら気軽に勉強できることがメリットとされていますが、教育の目的、内容から開催方法を慎重に考えていく時期が遠からず来ると思います。

また、医師の労働時間短縮に向けた「通称：医師の働き方改革」の一貫として医療職によるタスク・シフティング（業務の移管）の業務について指定講習会の受講により、それらの業務が行えるようになりました。当研究会関連では、術中神経モニタリングで針電極の装着が行えることとなったことにより、今後、臨床検査技師が術中神経モニタリングに関わる機会が増えることも予想されますので当研究会としても学術、技術支援を進めていく所存です。

今後も新執行部一同、全力を上げて当研究会の発展のために会員の皆様とともに努力して参る所存でございますので何卒よろしく願いいたします。

なるべく早い時期に学会や研究会などを通じて、会員の皆様と対面でお会いできる日を楽しみにしています。

以上を会長挨拶とさせていただきます。

令和4年5月吉日
日本神経生理検査研究会 会長 石郷景子

2022 年度日本神経生理検査研究会 通常総会(電子会議方式) 式次第

- 1) 議長選出
- 2) 議案の提案と審議検討 (会期:2022 年 6 月 1 日～2022 年 6 月 10 日) 10 日間
 - (1) 1 号議案
2021 年度事業報告、収支決算報告、監査報告(2021.4.1-2022.3.31)
 - (2) 2 号議案
2022 年度事業計画案、予算案 (2022.4.1-2023.3.31)
 - (3) 3 号議案
2022 年度年役員信任案
- 3) 審議と採択:各議案別採択方式とし投票用紙(下記 URL)より投票を行う
会則第 5 章 18 条『総会成立は、会員数の 1/10 の投票参加で成立とし、可否は投票数の過半数で決す』
投票用紙→<https://forms.gle/E7Q6mByi2QwYcY5C9>

1 号議案

2021 年度事業報告及び収支決算報告 (2021.4.1-2022.3.31)

【I. 事業報告】

- 1) 定例評議員会の開催
 - (1)2021.5. 28
2021 年度通常総会議案書(案)の審議を開催した。
執行部作成の議案書案について意見・疑問点・追加文言などあり、原案に訂正や文章追加などを加筆修した案が全員に承認された。
- 2)2021 年度通常総会を電子会議形式にて開催 (2021.6.1～6.15、15 日間)
 - (1)1号議案(2020 年度事業報告、収支決算、監査報告)、2 号議案(2021 年度事業計画案、収支予算案)、3 号議案(2021 年度役員信任案)について一括で審議および採択とした。
 - (2)今年度総会では、会員の意見や発言などにより投票結果を変更し“再投票”することを可能とした。
 - (3)今年度総会では、質問や意見などの投稿先を総会運営専用メーリングリストを作成した。
運営 ML:SSKK-workshop@umin.ac.jp。学術用神経メーリングリストへの投稿は不可とした。
 - (4)投票用紙へ記入された質問・意見などについて、投票時に公開の可否をと匿名希望の有無の記入欄を設けた。
 - (5)総会成立を報告(2021.6.3):投票数 78 名(今年度会員数 549 名)となり 1/10 以上で成立。
 - (6)総会投票 中間結果とご意見など(2021.6.2～8) を HP に掲載した。
 - (7)投票最終集計(2021.6.16):総数 165 票(承認 164 票、非承認 0 票、保留 1 票)
(内訳:北海道 19、東北 19、関東甲信越 31、中部 28、近畿 32、中四国 20、九州沖縄 16)
ご意見、質問等は 8 件、再投票は 1 票ありました。

3) 臨時評議員会の開催

日時:2022.3. 29 出席者:執行部役員および各支部長

- ・2022 年度のメンバーの役割りと評議員会の目的と運営について論議した。
- ・2022 年度の事業(研修会の在り方や全国研修会開催規約について)に関して審議した。

4) Zoom ウェビナーの共同利用の実際

共有アカウントを利用して各支部からの事前会議・テスト利用・本番セミナー開催などに頻繁に利用され、会員サービスに貢献できた。また、利用日時は zoom にてスケジュール化されているので重複する事態は回避できた。

5) 執行部役員会の開催

(1)開催日時:2021.7.18 出席者:石郷、片山、谷中、佐々木、瀬川、酒田、田中、西谷

議題:・新執行部の顔合わせおよび新体制で行うべきことの提案と議論、役割と担当の明確化について

- ・ML、IT の充実化と運用ルールの再周知について
- ・研究会への情報インプット(窓口業務の移行)について
- ・会則の改訂について
- ・役員選出方法について

(2)開催日時:2021. 9.19 出席者:石郷、片山、谷中、佐々木、瀬川、酒田、田中、西谷、高橋

議題:・web 会議ルールについて

- ・セミナー内規の制定に関して
- ・事務局用アドレス作成の報告

(3)開催日時:2022. 1.31 出席者:石郷、片山、谷中、佐々木、瀬川、酒田、田中、西谷

議題:・2022 年度全国研修会開催の公募について

- ・研修会開催に係る規約(内規4)の審議について
- ・総会開催日時について
- ・全国代表者会議の創設案について
- ・次年度の役員改選について

【Ⅱ. 2021 年度収支決算報告】

2021 年度収支決算書 (2021. 4. 1～2022. 3. 31) 会員数 546 名 (未納会員 212 名含む) (円)

| 収入の部 | 21'予算 | 21'決算 | 決算明細 |
|------------------|----------------|----------------|--|
| 1、会費 | 500,000 | 435,500 | 年会費、入会金合計 (複数年度納入があるため会員数の乗算ではない) 内訳:2019年 年会費¥500×18名 入会金¥1000×1名 2020年 年会費¥500×117名 入会金¥1000×27名 2021年 年会費¥1000×334名 入会金¥1000×6名 |
| 2、雑収入 | 11 | 7 | 利子 |
| 小計 | 500,011 | 435,507 | |
| 3. 前年度繰越金 | 564,574 | 564,574 | |
| 合計 | 1,064,585 | 1,000,081 | |
| 支出の部 | '21 予算 | '21 決算 | 明細 |
| 1、事業費 | 665,000 | 404,859 | |
| 24th 全国研修会準備金 | 200,000 | 0 | 関東甲信越支部主導によるWeb利用での開催のため全額返還された |
| 執行部派遣諸費 | 30,000 | 0 | Web研修会開催で移動不要であったため |
| 全国研修会積立金 | 0 | 0 | |
| 表彰 | 20,000 | 10,000 | 表彰対象1名: ¥10,000×1 |
| 支部研修会支援金 | 0 | 0 | 各支部ともWEBセミナー開催中心のため補助金のみで対処できた |
| 支部活動補助金 | 175,000 | 167,000 | ¥500×334名(2021年度納入会員数) |
| Webセミナー開催対策費 | 240,000 | 227,859 | Zoomウェビナー契約料(2021/4/1～2022/4/6、月契約と年契約混在) |
| 2. 事務費 | 84,000 | 50,312 | |
| 会議費 | 10,000 | 0 | |
| 通信費 | 8,000 | 8,000 | ¥1000×8 |
| 執行部行動費 | 16,000 | 16,000 | ¥2000×8 |
| 消耗品費 | 10,000 | 0 | |
| 案内通信費 | 30,000 | 25,282 | Google Workspace Business plus(2021/4～2022/3) |
| 予備費 | 10,000 | 1,030 | 振込手数料等 |
| 小計 | 749,000 | 455,171 | |
| 3. 次年度繰越金 | 315,585 | 544,910 | |
| 合計 | 1,064,585 | 1,000,081 | |

* 特別会計<全国研修会積立金>

| | 収入 | 支出 | 概要 |
|--------|---------|----|--------|
| 前年度繰越金 | 200,000 | | |
| 受取利息 | 0 | | |
| 合計残高 | 200,000 | | 次年度へ繰越 |

[Ⅲ. 学術活動]

1. 全国主催 <開催担当:関東甲信越支部主導にて>

日時:2022年3月13日(日)12:00~17:00

研修会名:第24回日本神経生理検査研究会全国研修会

テーマ:『web講習会だからできること』

会場:WEB

プログラム

講義1:米国における医療状況～神経生理検査を中心に～、CHOC Children's Hospital、伊藤 葉子 技師

講義2:実践! てんかん患者の脳波判読、東北大学大学院てんかん学分野、神 一敬 医師

講義3:RNSのすべて、帝京大学医学部神経内科学講座、畑中 裕己 医師

講義4:知っておきたいMEの基礎と落とし穴

日本光電工業株式会社 技術開発本部 医療機器技術開発部、佐野 仁 氏

参加人数:130名

2. 支部主催

1) 北海道支部

日時:2021年11月13日(土)

研修会名:第71回神経生理検査勉強会、

テーマ:『知っているようで知らない脳波の話～今さら聞けない基本事項～』

会場:WEB

プログラム

講演1:脳波検査の測定の基礎～電極の位置から記録まで～北海道医療大学 小野 誠司 技師

講演2:脳波検査の実際～基本事項を動画で確認～北海道医療大学 小野 誠司 技師

参加人数:100名

日時:2022年03月06日(日)

研修会名:第72回神経生理検査勉強会

テーマ:神経筋疾患における診断と神経生理検査

会場:WEB

プログラム

講演1:「CTS診断のNCSアプローチ」医療法人社団松寿会 丘整形外科病院 検査科 齋藤 江美子 技師

講演2:「神経筋疾患における神経生理検査の役割～針筋電図を中心に」

札幌医科大学 神経内科学講座 助教 山本 大輔 医師

参加人数:127名

2) 東北支部

日時:2021年9月25日(土)13:00～

研修会名:第9回東北支部研修会

会場:WEB

プログラム

講義1:「試験で出たところから学ぶ小児脳波・臨床検査技師国家試験から」

東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野・講師 柿坂 庸介 医師

講義2:症例報告「脳波にて周期性放電を呈した3症例」太田熱海病院 品田 佳位 技師

講義3:「誘発電位計のQandA」日本光電工業株式会社 伊藤 淳 氏

参加人数:45名

3) 関東甲信越支部

日時:2021年9月18日(土)15:00～18:30

研修会名:第37回日本神経生理検査研究会関東甲信越支部勉強会

テーマ:『オンラインで行う参加型勉強会』～顔と名前は出しませんよ&指しませんよ～

会場:WEB

プログラム

講義1:web で学ぶ脳波判読、横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 検査部、田中 理 技師

講義2:手根管症候群の比較法・ハンズオン、帝京大学医学部附属病院 中央検査部、星野 哲 技師

参加人数:170名

4)中部支部

日時:2021年9月11日(土) 12:50～16:25

研修会名:第34回日本神経生理検査研究会中部支部研修会

テーマ:令和時代に求められる生理検査

会場:WEB

プログラム

講演1:生理検査と医療安全～現状に求められるもの～ 松阪市民病院 中央検査室 宇城 研悟 技師

講演2:神経伝導検査～次の一手を考える～ 大隈病院 臨床検査科 山内 孝治 技師

講演3:術中脊髄モニタリング 最新の話題などを含めて

東京医科歯科大学大学院 先端技術医療応用学整形外科学 ジョイントリサーチ講座
教授 川端 茂徳 医師

参加人数:105名

日時:2022年2月26日(土) 12:50～16:25

研修会名:第35回日本神経生理検査研究会 中部支部 研修会

テーマ:基本的事項を再確認しよう

会場:WEB

プログラム

講演1:術中モニタリングの基礎ータスクシフトで活躍できるー

富士脳障害 研究所附属病院 検査科 杉山 聡 技師

講演2:脳波のノウハウ 小牧市民病院 臨床検査科 田中 夏奈 技師

講演3:誘発電位の Tips and tricks 伊勢赤十字病院 脳神経内科 内藤 寛 医師

参加人数:113名

5)近畿支部

日時:2021年10月23日(土)

研修会名:第8回日本神経生理検査研究会近畿支部研修会

テーマ:「ここからはじまる神経伝導検査 近畿支部はじめてのweb開催」

会場:WEB

プログラム

講義1:神経伝導検査のいろは 神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経内科 小泉 直史先生

講義2:顔面神経予後診断におけるENoG 天理医療大学 和田 晋一先生

講義3:症例検討 神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経内科 幸原 伸夫先生

参加人数:90人

日時:2022年4月23日(土)

研修会名:第9回日本神経生理検査研究会近畿支部研修会

テーマ「ここから始まる神経伝導検査 ～電気生理学の基礎と臨床～」

会場:WEB

プログラム

講義1:オームの法則で考える電気生理学の基礎 天理よろづ相談所病院 脳神経内科 橋本修治先生

講義2:神経伝導検査:結果解釈のピットフォール 天理よろづ相談所病院 脳神経内科 野寺裕之先生

講義3:質問コーナー」

参加人数:90人

6) 中国四国支部

日時:2022年3月19日(土)

研修会名:第9回中国四国支部研修会

テーマ:神経筋エコーの基礎と応用

会場:WEB

プログラム

講義1:神経筋エコーの基礎、県立広島病院脳神経内科 越智 一秀 医師

講義2:症例提示ー神経筋エコーと電気生理検査を併用してー

徳島大学病院脳神経内科、山崎 博輝 医師

会長賞講演 腕神経叢エコーが契機となって悪性腫瘍が診断できた一例

徳島大学病院脳神経内科、高松 直子 技師

参加人数:57名

7)九州沖縄支部

日時:2022年4月7日(木) 19:00～20:15

研修会名:第16回日本神経生理検査研究会九州沖縄支部研修会

会場:WEB

プログラム

講義1:神経生理検査の魅力とニューロパチー、国立水俣病総合研究センター、花田 守 技師

講義2:Q&A方式による講演(ベーシック)、所属:省略、九州沖縄支部幹事・佐々木 一朗 技師

参加人数:51名

日時:2022年5月10日(火) 19:00～20:00

研修会名:第17回日本神経生理検査研究会九州沖縄支部研修会

会場:WEB

プログラム

講義1:Q&A方式による講演(アドバンス)、所属:省略、九州沖縄支部幹事

参加人数:65名

【 IV. 2021年度 監査報告 】

[監査報告書]

日本神経生理検査研究会 会長 石郷 景子 殿

2021年度の監査を実施しましたので下記の通り報告します。

- 1.会務について、事業計画を円滑かつ確実に遂行されていることを認めます。
- 2.会計について、会計収支に不正なく現金および通帳等は正確に整っていることを認めます。

三浦 祥子 2022年5月24日

2号議案

2022 年度事業計画案および予算案(2022.4.1～2023.3.31)

【Ⅰ. 事業計画案】

1. 組織、運営に関すること

- 1) 組織のさらなる活性化を手掛け、それにより会員が神経生理検査の質向上に寄与し、社会に広く認知されるような人材育成をめざす。同時に次期幹部役員の発掘・指名・育成を進める。
- 2) 近年、支部活動の充実に伴う会員情報の管理やさまざまな活動支援業務が増加し、それに伴い事務局業務も多様化している。事務局員を増員し、円滑な会運営を行える改変ができた一方で、学際的な充実も求められるため、各地区の支部長に会運営の助力を依頼し、運営中枢として参画を進める
- 3) 会員の情報交換の場として活用されているメーリングリストの適切な運営と、さらなる充実を図る。
- 4) 年 1 回の総会を電子総会として開催する。
- 5) 本会の迅速な組織運営を進めるために積極的に SNS や Web 会議系ソフト等を利用する。

2. 学術関連における他団体との連携に関すること.

- 1) 日本臨床衛生検査技師会や日本臨床神経生理学会とは、認定制度や生涯教育における従来の交流を継続するとともに、新しい制度や検査項目などの情報収集と広報活動を推進する。
- 2) 専門学会との交流は、臨床検査技師が関わる日本臨床神経生理学会を中心とするが、日本神経学会や日本末梢神経学会などの学術団体などとの交流も視野に入れて、研究会の充実と会員の利便性を図る。
- 3) 日本臨床神経生理学会が主催する、神経筋診断セミナー、術中脳脊髄モニタリング委員会やセミナー、脳波セミナー・アドバンスコース委員会やセミナーなどの専門技術交流が図れる団体等とは積極的に参画し、また情報交換を図り、会員の技術育成に関与する。
- 4) WEB セミナーによる神経関連の疾患や技術講習会などの開催情報を収集し積極的に広報していく。

3. 表彰事業に関すること

- 1) 会員のモチベーションのさらなる励みとなるように、表彰制度を推進する。
- 2) 対象とする論文や業績は、前年度に発表された論文について表彰委員が吟味し推薦する。
- 3) 該当する内容や業績や年齢により学術奨励賞(40歳未満)、会長賞(40歳以上)などに分類する。

4. 研修会や講演会などの開催や支部活動に対する支援について

- 1) 共同利用形式での Zoom ウェビナーの活用事業は効果的に利用され、支部活動に大きく貢献できた。今年度もこの活用を継続する。
なお、zoom 契約は年払いの方が安価であることを鑑み、昨年度同様に年払いとする。
期間は 2022/4/6 ～2023/4/6。
- 2) 支部活動支援策の一環として、共同利用型のセキュリティのしっかりした有料版クラウドサービス(Google Workspace Business)の利用を提案し予算計上した。
上記を利用し、セミナー配布用資料や広報用ポスター、参加申込フォーム等の保管場所として各支部単位でも活用できるよう検討を行う。
- 3) ホームページのリニューアル
さらに研修会申込フォームや入会・退会・変更などの事務処理をスムーズに行えるよう整備する。

【Ⅱ. 学術活動】

1. 全国主催

2022 年度は開催予定なし

2. 支部主催(2022. 5. 31 現在)

1) 関東甲信越支部

日時:2022年 9月11日(土) 15:00~16:30

研修会名:第38回日本神経生理検査研究会関東甲信越支部研修会

テーマ:脳波判読実習グループディスカッション~脳波レポートを書いてみよう~(仮)

会場:WEB

プログラム

講義1:4グループに分けてディスカッションを行う、講師は幹事が担当する

参加人数:合計40名

2) 中部支部

日時:2022年10月29日(土) 12:50~16:25

研修会名:第36回日本神経生理検査研究会 中部支部 研修会

会場:名古屋国際センター 第一会議室

プログラム

講義1:(仮)脳波症例 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 井澤和美技師

講義2:(仮)神経筋超音波 岐阜大学病院 伊藤亜子技師

講義3:(仮)神経伝導検査・針筋電図 神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経内科 幸原伸夫医師

*順次企画し案内していく予定

【Ⅲ. 会員表彰】

表彰委員会にて推薦者を選考し、執行部および評議員会にて承認された以下の会員の論文を会長賞として表彰し、賞状と記念品(1万円相当)を贈呈する。

1) 会長賞: 菅野 彰剛氏

(東北大学病院てんかん科、東北大学大学院工学研究科先端スピントロニクス医療応用共同研究講座(ASPIME))

対象論文:トンネル磁気抵抗素子を用いた室温脳磁計による体性感覚誘発磁界の測定

菅野 彰剛, 大兼 幹彦, 藤原 耕輔, 松崎 斉, 安藤 康夫, 中里 信和

生体医工学/Annual59 巻(2021) Proc 号/

「推薦理由」

当論文は、体表に接したセンサを開発し、体性感覚誘発磁界の再現性に成功した研究成果であり、脳磁計の未来を大きく変化させることが期待される画期的な内容である。

【Ⅱ. 2022 年度予算計画書】

2022 年度収支予算書(案) (2022. 4. 1~2023. 3. 31) 会員数 550 名 (未納会員 215 名含む)

| 収入の部 | 21'決算 | 22'予算 | 明細 |
|-----------|-----------|-----------|---|
| 1、会費 | 435,500 | 560,500 | 年会費、入会金合計 (4/19現在) (複数年度納入があるため会員数の乗算ではない) 内訳: 2020年 年会費 ¥500 × 38名 2021年 年会費 ¥500 × 161名 入会金 ¥1000 × 63名 2022年 年会費 ¥1000 × 389名 入会金 ¥1000 × 9名 |
| 2、雑収入 | 7 | 7 | 利子 |
| 小計 | 435,507 | 560,507 | |
| 3. 前年度繰越金 | 564,574 | 544,910 | |
| 合計 | 1,000,081 | 1,105,417 | |

| 支出の部 | 21'決算 | 22'予算 | 明細 |
|--------------|-----------|-----------|---|
| 1、事業費 | 404,859 | 443,630 | |
| 全国研修会準備金 | 0 | 0 | 25th全国研修会開催支部の候補がなしのため、今年度は開催せず。 |
| 執行部派遣諸費 | 0 | 0 | |
| 全国研修会積立金 | 0 | 0 | |
| 表彰 | 10,000 | 20,000 | |
| 支部研修会支援金 | 0 | 0 | Zoomウェビナーでの共同利用にて代替とした |
| 支部活動補助金 | 167,000 | 194,500 | ¥500 × 389名 (4/19現在) |
| Webセミナー開催対策費 | 227,859 | 229,130 | Zoomウェビナー(500名) 1年間契約(2022/4/6~2023/4/6) |
| 2. 事務費 | 50,312 | 119,640 | |
| 会議費 | 0 | 10,000 | |
| 通信費 | 8,000 | 8,000 | ¥1000 × 8 |
| 執行部行動費 | 16,000 | 16,000 | ¥2000 × 8 |
| 消耗品費 | 0 | 10,000 | |
| 案内通信費 | 25,282 | 65,640 | Google Workspace Business plus(2022/4~2023/3)および Xserverアカウント代2022年4月18日 - 2025年4月30日(3年分) |
| 予備費 | 1030 | 10,000 | 振込手数料等 |
| 小計 | 455,171 | 563,270 | |
| 3. 次年度繰越金 | 544,910 | 542,147 | |
| 合計 | 1,000,081 | 1,105,417 | |

* 特別会計<全国研修会積立金>

| | 収入 | 支出 | 概要 |
|--------|---------|----|--------|
| 前年度繰越金 | 200,000 | | |
| 受取利息 | 0 | | |
| 合計残高 | 200,000 | | 次年度へ繰越 |

3号議案 2022年度年役員信任（案）

日本神経生理検査研究会役員案（下線は今年度より新役員）

1. 評議員役員

| | |
|------|---|
| 会長 | 片山 雅史（純真学園大学） |
| 副会長 | 谷中 弘一（獨協医科大学日光医療センター） 担当：会計遂行の管理、事務局内での会計業務の構築 |
| 事務局長 | 佐々木 一郎（神戸市立医療センター中央市民病院） 担当：事務総括、総会および会議準備と記録） |
| 事務局員 | 田中 理（横浜市立脳卒中・神経脊椎センター） 担当：WEB 関連事業（HP 含む）、セミナー支援 |
| 事務局員 | 西谷 由美子（総合大雄会病院） 担当：会員情報管理、セミナー支援サブ |
| 事務局員 | 酒田 あゆみ（九州大学病院） 担当：渉外・広報・支部連携 |
| 事務顧問 | 瀬川 義朗（自宅） 担当：業務全般補助 |

支部代表者(支部長)

| | |
|-------------|-------------------------|
| 北海道支部 | 山本 雅史（北海道大学病院） |
| 東北支部 | 赤塚 れい子（山形県立河北病院） |
| 関東甲信越支部 | 星野 哲（帝京大学医学部附属病院） |
| <u>中部支部</u> | <u>西谷 由美子（総合大雄会病院）</u> |
| 近畿支部 | 松下 隆史（神戸市立医療センター中央市民病院） |
| 中国・四国支部 | 佐藤 研吾（鳥取大学医学部保健学科） |
| 九州沖縄支部 | 八木 和広（潤和会記念病院） |

4. 監査

河島 江美（北里大学病院）

5. 特別会員

高橋 修（東京都リハビリテーション病院）

6. インターネット運営委員

佐々木 一郎（神戸市立医療センター中央市民病院）
田中 理（横浜市立脳卒中・神経脊椎センター）
瀬川 義朗（自宅）

7. 表彰推薦委員（順不同・敬称略）

和田 晋一（天理医療大学）
小山 由実（広島大学病院）
星野 哲（帝京大学医学部附属病院）